FNX 8 6 0

NET IMPRESS AFXシリーズ用

定義体マニュアル

株式会社DTSインサイト

改訂履歴

版数	更新日付	内容	適用箇所
Rev.01	2020/07/15	新規発行	-

ご利用上の注意

- ① 本製品は弊社NET IMPRESS専用の定義体です。弊社NET IMPRESS以外では ご使用にならないでください。
- ② 対象マイコンと定義体との対応を誤って使用すると、ターゲットシステムを破壊する恐れがあります。本製品のマイコンパックで対象となるマイコンをご確認してからご使用ください。
- ③ NET IMPRESSは、ターゲットシステムとのインタフェイスIC (NET IMPR ESS内部IC) 電源用に数mAの電流をTV c c d 端子より消費いたします。
- ④ デバイスファンクション又は、ファンクション実行中には、SDカードの脱着は、行わないで ください。実行中に、脱着してしまいますとSDカードを破壊する恐れがあります。

おことわり

- 1)本書の内容の全部または一部を、無断転載することは禁止されています。
- 2)本書の内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 3)本書の内容について、ご不審な点やお気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 4)本製品を運用した結果の内容の影響につきましては、3)に関わらず責任を負いかねますので ご了承ください。

© DTS INSIGHT CORPORATION All Rights Reserved. Printed in Japan

目 次

1. 概要	4
2. 仕様	5
2-1. 対象マイコンと仕様	5
2-2. 機種固有のパラメータ設定	7
2-2-1. Parameter Table 1 ウィンドウの設定	7
2-2-2. Basic Operationウィンドウの設定	2
2-2-3. Parameter Table 2 ウィンドウの設定	4
2-3. デバイスファンクションと実行機能 1	6
3. YPMファイル 1	8
3-1. 概要 1	8
3-2. 使用方法 1	8
4. セキュリティ/オプションバイト/ I Dコード設定 1	9
4-1. 概要 1	9
4-2. セキュリティ/オプションバイト/ I Dコード設定方法 1	9
4-3. セキュリティ/オプションバイト/ I Dコード設定値 2	20
4-3-1. セキュリティフラグ 2	20
4-3-2. ブートブロッククラスタ最終ブロック番号設定 2	20
4-3-3. フラッシュシールドウインドウ開始ブロック番号設定2	21
4-3-4. フラッシュシールドウインドウ終了ブロック番号設定2	21
4-3-5. オプションバイト設定 2	22
4-3-6. OCD用 I Dコード設定 2	23
4-4. 設定処理フロー 2	24
4-5. セキュリティによるデバイスファンクション実行可否 2	28
4-6.オプションバイト/IDコード設定時の注意2	29
5. エラーメッセージ	\$0
5-1. エラーコード一覧 3	\$0
5-2. エラーメッセージー覧 3	31

1. 概要

FNX860は、型名:AFXxxxのNET IMPRESSシリーズで使用可能な定義体です。 FNX860は、**ルネサスエレクトロニクス社製:V850E2/Fx4**を対象とする、これと同 ーのアルゴリズム・プロトコルで書き込み可能なフラッシュメモリ内蔵マイコンを対象とします。

AFXとターゲットの接続には、PHX400をご使用ください。 その他のプローブケーブルについては、弊社又は代理店にお問い合わせください。

※ 本マニュアルで記載のあるNET IMPRESSは型名:AFXxxxの本体のことを指しま す。

< ご注意 >

必ずお客様がお使いになられるフラッシュメモリ内蔵マイコン用のマイコンパックと組み合わせ てご使用ください。

書き込み方式の異なるマイコンに対するご利用は、ターゲットマイコン及びそれを含むユーザシス テムを破壊する恐れがあります。

2. 仕様

2-1.対象マイコンと仕様

特に記載なき項目は、NET IMPRESS標準に準じます。

型名	F N X 8 6 0
ターゲットマイコン	FNX860Mxxマイコンパックで規定
Code Flash容量	同上 ※1
Code Flash アドレス	同上 ※1
Data Flash容量	同上 ※1
Data Flash アドレス	同上 ※1
ターゲットインタフェイス	単線UART (非同期通信) インタフェイス 9600/115200/500000bps □ MSBファースト ■ LSBファースト CSI (同期通信) インタフェイス 62.5K/125K/250K/500K/850K/ 1.25M/2.5M/3.3M/5.0Mbps ■ MSBファースト □LSBファースト
デフォルト	FNX860Mxxマイコンパックで規定
書き込み時のターゲット マイコン動作周波数	同上
書き込み時のターゲット インタフェイス電圧	同上

対象マイコンの詳細は各種マイコンパックのユーザーズマニュアルをご参照ください。

※1:本定義体の対象とするマイコンでは、Code FlashとData Flashの複数 のメモリ領域を持つものが存在します。 各メモリのアドレス空間をそのまま利用しライタのバッファメモリを構築するとバッファメ モリが大きくなってしまうため、ライタ上では仮想のアドレスに変換して各メモリのデータ を保持します。 マイコンへの書き込み時は、再度アドレスを変換して元のアドレスに戻して書き込みます。

下記にアドレス変換の例を示します。

また、FNX860が書き込み対象とするマイコンのデータフラッシュには、データ4バイトの後ろにID Tagを4バイト付加する必要があります。ID Tagもバッファメモリ内に領域を確保するため、データフラッシュ部分のバッファメモリは、対象マイコンのデータフラッシュサイズの2倍の容量が確保されます。



NET IMPRESSのバッファメモリの見え方は以下表のようになります。

メモリ名称	本来の先頭アドレス(例)	NET IMPRESSの バッファメモリ先頭アドレス(例)
Code Flash	#00000000	#0000000
Data Flash	#02000000	#0010000

以下の操作を行う場合、アドレスの読み替えに注意が必要です。

- ・ターゲットアドレス及びバッファアドレスのアドレスを指定する場合、バッファメモリのアドレス に置き換えてください。
- ・エディット機能で表示される(又は指定する)アドレスは、バッファメモリのアドレスに置き換えてください。

2-2. 機種固有のパラメータ設定

SWX600を利用して次の初期設定を行います。

リモートコントローラのご利用方法については、NET IMPRESSの操作マニュアル(ソフト ウェア)をご参照ください。

2-2-1. Parameter Table 1 ウィンドウの設定

Parameter Table 1 画面上で、ターゲットマイコンにあったパラメータ設定を行います。

Current IMPRESS Module						
	FN)	(860.YIM				Communication
ICU TYPE	Definition Progra	am License	MICOM P	ACK No.	Mary	
FNA000		147000		FNADOU	MIXX	Execute YMN
License Information	File Transfer	Con	figuration	V	ersion	1
Host Communication	Basic Operation	Paran	teter lable 1	Param	eter Table 2	OK
MCU Type FNX860		Data Comm	nunication			
TVcc Threshold	2.7 M	Interface	CSI	~		Cancel
	20 0 PM I=1	Baud Rate	5M	✓ bps		-
MCO Clock Frequency			Provide Landson (1)			Exit
MCU Operation Mode	0000					SWX600 Version
WDT Clock Period	20 [ms]					1.15
BufferRAM Initialize Mode	KEEP ~					Droho Solast Info
SUM Check Mode	8/8bit 🗸					PROBE1
ROM Block Configuration	Setting					
Flash ROM Area						
First Address	00000000					
Last Address	0021FFFF					
Buffer Area						
First Address	00000000					
Last Address	0021FFFF					
RAM DISK Area						
First Address	00000000					
Ram Disk Size	00000000					

①TVcc Threshold

ターゲットマイコンの動作電圧の下限値から0.1V程度低い値を設定頂くことを推奨致します。 NET IMPRESSは、ターゲットマイコンの動作電圧(TVcc)を監視しており、 この電圧がここで設定する電圧値以上の時に、デバイスファンクションを実行します。 NET IMPRESSでのTVccスレッショルドの設定は、NET IMPRESSの操作マニ ュアル(スタンドアロン)をご参照ください。

②Flash ROM [First/Last Address]

マイコンに内蔵されているフラッシュメモリ領域(First/Last Address)を 設定してください。

NET IMPRESSでのキー操作ではFlash ROMの設定はできずに、表示のみとなります。

NET IMPRESSの操作マニュアル (スタンドアロン) をご参照ください。

③ROM Block Configuration フラッシュメモリのブロック構成を設定します。

< ブロック情報テーブル >

ブロック情報テーブルは、ブロックグループNo.、ブロックグループのスタートアドレス、

ブロックサイズの3情報からなります。

ブロックグループNo.: Group1~Group14までの14Groupが指定できます。 連続したブロックサイズの等しい一群のブロックを一つのブロック グループとして、アドレスの小さい方から、小さい番号のブロック番号 を付与します。

スタートアドレス: ブロックグループの開始アドレスです。

このアドレスからブロックサイズで定められた大きさのブロックが連続 して並び、一つのブロックグループを構成します。

ブロックサイズ: NET IMPRESSは、次の(ブロック)グループアドレスまで、
 このブロックサイズで定められたサイズのブロックが連続して配置されるものと解釈されます。
 また、ブロックサイズを1にするとアクセス禁止領域となります。アクセス禁止領域はデバイスファンクション実行領域でも、デバイスファン

クションが実行されません。

例)

ブロックグループNo.	スタートアドレス	ブロックサイズ
1	#00F80000	#00008000
2	#00FA0000	#00010000

スタートアドレス



(MCU Clock Frequency)

ターゲットマイコンへの入力クロックを設定します。

この値はデバイスファンクション実行時にライタ側で参照され、マイコンとの通信速度を決定します。正しく設定されていない場合、マイコンとの通信が確立できなくなります。

NET IMPRESSでの周波数設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル(スタンドア ロン)をご参照下さい。

5MCU Operation Mode

ー部のセキュリティ設定(書き込み禁止フラグ/チップ消去禁止フラグ/ブートブロッククラスタ 書き換え禁止フラグ)の有効/設定禁止を選択します。

	Mode					
NET IMPRESS キー操作時のLCD表示	St'd(デフォルト)	Opt				
SWX600 上の値	0000	0001				
一部のセキュリティ設定	設定禁止	有効				

一部のセキュリティ設定禁止

セキュリティ設定データ中の、書き込み禁止フラグまたはチップ消去禁止フラグ またはブートブロッククラスタ書き換え禁止フラグが"禁止"設定されていた場合、 エラーを出力してデバイスファンクションを中断します。 通常はこのモードでご利用ください。

 ・一部のセキュリティ設定有効 セキュリティ設定データの内容をそのまま設定します。
 書き込み禁止フラグまたはチップ消去禁止フラグまたはブートブロッククラスタ
 書き換え禁止フラグを"禁止"設定する場合、このモードをご利用ください。

セキュリティ設定機能につきましては第4章をご参照ください。

[®]WDT Clock Period

NET IMPRESSは、オンボードプログラミング中に定周期のクロックパルスを出力する 機能を持っています。この周期を利用する場合はWDT周期の設定を行います。 定周期パルスは、WDT信号から出力されます。 NET IMPRESSでのWDT設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル(スタンドア

ロン)をご参照ください。

⑦Data Communication

NET IMPRESSとターゲットマイコン間の通信設定を指定します。 FNX860では、ウィンドウの各項目を次のように設定してください。

• Interface

CSI(同期通信)/UART:1WIRE(非同期通信1線式)を選択してください。 NET IMPRESSでの通信路設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル(スタンド アロン)をご参照ください。

• Baud Rate

通信速度を設定します。

NET IMPRESSでの通信速度設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル (スタン ドアロン)をご参照ください。

⑧MCU Type

この項目へ設定された内容が、ウィンドウ左上部のMCU Type及びNET IMPRESS 本体上に表示されます。

- マイコンの型名、お客様の装置型名など任意の文字を16桁まで入力できます。
- NET IMPRESSでの表示型名変更は、NET IMPRESSの操作マニュアル (スタンド アロン)をご参照ください。

𝖲OK

Parameter Table 1 ウィンドウ内容の設定をYIMフォルダ内の定義体ファイル に反映します。

①~⑧の設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。 OKキーが押されなければ、パラメータは反映されません

2-2-2. Basic Operationウインドウの設定

Basic Operationウィンドウ上では、次の3項目の設定を行います。

		FNX86	IO.YIM			Communication		
ICU TYPE		Definition Program	Definition Program License MICOM PACK No.					
FNX	(860	FNX	860		Execute YMN			
License Infor	mation	File Transfer	Configurat	on	Version			
Host Commu	nication	Basic Operation	Parameter Ta	able 1	Parameter Table 2	OK		
			144					
Target Address		File Operati	on	-		Cancel		
First Address	00000000	Load Fil	e Save File	Delete F	File Delete All File			
Last Address	00017777	Current Fil	e			Exit		
Last Address	00217777					CHAIN COD March		
Verify Mode	FULL READ ~	File List				SWADUU Version		
ERASE	BLANK							
		1				Probe Select Info		
PROGRAM	READ					PROBE1		
E.P.R	COPY							
Buffer Area First Address	00000000							
Last Address	0021FFFF							
Clear Buffer S	tore Block Bu	ffer SUM			-			
EDIT	ess							
		SET						
END Data		+			+			

(Device Function

マイコンへのデバイスファンクションの対象領域を設定します。

通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

デバイスファンクションアドレスは、その設定アドレス値によりフラッシュメモリのブロック境界 アドレスに自動アライメントされます。

この自動アライメントされた領域に対して、デバイスファンクションが実行されます。

②Buffer Area

NET IMPRESSのバッファメモリ上のデータをセーブ・ロードする領域を設定します。 通常は、2-2-1. ②項のFlash ROM領域と同じ設定にします。

③Verify Mode

E. P. R、PROGRAM実行時のベリファイモードを設定します。

デバイスファンクションE. P. R、PROGRAM時に実行されるRead Verifyは、R ead Verify Modeで設定されているベリファイが実行されます。

NET IMPRESSでのベリファイモード設定は、NET IMPRESSの操作マニュアル(ス タンドアロン)をご参照ください。

• SUM READ

マイコンからProgramを行った領域のCRC値を読み出し、プログラマがProgram 時に転送した書き込みデータのCRC値と比較します。

• FULL READ

プログラマがマイコンへProgramを行った領域のデータを送信し、マイコン側でフラッシュメモリデータとの比較を行います。

40K

ウィンドウ内容を、コントロールモジュールに転送するキーです。

①~③の設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。

OKキーが押されなければ、変更したパラメータは反映されません。

2-2-3. Parameter Table 2 ウィンドウの設定
 この設定ウィンドウには、マイコン固有パラメータが設定されています。
 指定されている値以外は絶対に変更しないでください。

Parameter Table2 のタブを選択しますと Password を求められますので"AF200"と入力して下さい。

(入力した文字はマスクされて表示されます)。

swx Password		-		\times
Password:	****			
OK		Ca	ancel	

設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。 OKキーが押されなければ、パラメータは反映されません。 Parameter Table 2 の#141 に設定されている値が単線UARTボーレート設定値となります。 下記のいずれかの値に設定して下さい。

設定値	単線 UART ボーレート
00	9600bps
01	115200bps
02	500000bps

FNX860.YIM								H BACK No.	Communication									
F	NX	86	D			ı i	enn	tion	Prog	FN)	(86	0			ı i	nicoi	FNX860Mxx	Evende VMM
Licensel	Infor	mat	tion		1	F	ile T	rans	fer		T	1	Conf	ioura	ation		Version	Execute Mill
Host Com	mu	nica	tion			Ba	sic C	pera	ation			Pa	ram	eter	Tabl	e 1	Parameter Table 2	OK
Specific I	Dar	ame	tor	for th	nie M	Aico	m P	ack										UK
Opecine		01	02	03	04	05	06	07	08	00	OΔ	0B	00	00	0F	OF		Cancel
0C0:	00	50	44	37	30	46	33	35	35	38	20	20	00	00	00	00	.PD70F3558	F 3
0D0:	00	23	03	63	04	53	10	04	10	04	00	13	06	00	14	00	.#.c.S	Exit
0E0: 2	22	31	00	00	00	10	39	80	25	60	15	60	00	00	10	03	"19.%`.`	SWX600 Version
0F0:	02	00	00	00	00	1F	FF	FF	00	00	10	00	00	00	10	00	•••••	1.15
440 5							1			1	Les		1	1	1			Probe Select Info
140: [02	02	10	03	101	00	04	00	02	00	101	00	00	00	00	00	•••••	PROBE1
600:	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	80	00	00	08		
610:	00	00	00	00	00	oc	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00		
620:	00	00	00	00	02	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00		
	00	oc	00	00	00	01	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00		

設定変更後は、他のウィンドウに移る前に必ず、OKキーを押してください。 OKキーが押されなければ、パラメータは反映されません。

2-3. デバイスファンクションと実行機能

NET IMPRESSのデバイスファンクション起動時に実行される機能は以下のとおりです。

デバ	イスファンクション	ERASE	BLANK	PROGRAM	READ	E. P. R	СОРҮ
対象メ	Flash RO M Area設定 によるフラッシュ メモリ一部領域	0	0	0	0	0	0
モリ城	フラッシュメモリ 全領域	0	0	0	0	0	0
		■Blank		□Blank		■Blank	
フ	ラッシュメモリに	■Erase		□Erase		Erase	
	対する実行動作	*2		Program		■ Program	
				■Read*1	■Read	■Read*1	Сору
				*3	*4	*3	Read
備考			·		·	·	

*1:VERIFY MODE の設定値により指定されたベリファイモードでベリファイを実行します。

VERIFY MODE 設定値として"FULL VERIFY"を指定した場合、書き込んだ全てのデータをマイコンに送信し、ベリファイ結果を取得することで、マイコン内のデータとライタのバッファRAMのデータを照合します。

"SUM VERIFY"を指定した場合、書き込んだデータのCRC値をマイコンから取得し、ライタのバッファメモリから計算したCRC値と比較することで照合します。

VERIFY MODE は、NET IMPRESSの操作マニュアル (スタンドアロン) を ご参照ください。

*2:全領域の消去を実行した場合、消去実行後にセキュリティ・オプションバイト・IDコードの設定処理が実行されます。また、設定したセキュリティ・オプションバイト・IDコードに対するベリファイが実行されます。詳細につきましたは、本マニュアルの4章をご参照下さい。

- *3:フラッシュメモリのベリファイ実行後に、セキュリティ・オプションバイト・IDコードの 設定処理が実行されます。また、設定したセキュリティ・オプションバイト・IDコードに 対するベリファイが実行されます。詳細につきましたは、本マニュアルの4章をご参照下さ い。
- *4:フラッシュメモリのベリファイ実行後に、YDDファイルに記述されたセキュリティ・オプションバイト・IDコードと、マイコンに書き込まれたセキュリティ・オプションバイト・ IDコードの間でベリファイが実行されます。詳細につきましたは、本マニュアルの4章を ご参照下さい。

3. YPMファイル

3-1. 概要

マイコンのスペックに対応した、コマンド実行 Wait 値の算出用パラメータファイルです。

3-2. 使用方法

拡張子 YPM のファイルを、コントロールモジュールのDOS領域に配置頂きます。 YPM ファイルは必ず配置してご利用ください。

- 4. セキュリティ/オプションバイト/ I Dコード設定
- 4-1. 概要

本定義体の対象となるマイコンは、第三者からの不正なフラッシュメモリアクセスを制限するセキ ュリティを設定する機能を備えております。また、マイコンの動作を設定するためのオプションバ イト設定、オンチップデバッグ時の I Dコードの設定を行うことが出来ます。

4-2. セキュリティ/オプションバイト/IDコード設定方法

セキュリティ/オプションバイト/IDコード設定をするためには、設定ファイルを別途作成して 頂く必要があります。

設定ファイルは、<u>拡張子YDD</u>(モトローラSフォーマット)のファイルとし、YIMフォルダ内 に配置して頂きます。

設定ファイルの作成にはAZ481 (KEYファイルジェネレータ)を利用することができます。

YDDファイルはYIMフォルダ内にダウンロードしてご利用ください。

(ただし、BLANK、COPY実行時にはYDDファイルは必要ございません。) YDDサンプルファイルは弊社より提供されます。(標準セキュリティ状態)

Pile(F)	File Generator AddressSize	(<u>A)</u> O	ied] ption(<u>O</u>)	He	lp(<u>H</u>)		T	EX	.7.7													<u>- </u>
			File	:			K			11	<u>e (</u>	Ge	ne	ra		<u>r</u>						
No.	Address	Size	Туре		00	01	02	03	04	05	06	D : 07	a ta 08	09	0A	0B	00	0D	0E	0F	Title	
1	00000000	1	нех	•	FF																	
2	00000004	2	HEX	•	00	03																
3	00000008	2	HEX	•	00	00																
4	00000000	2	HEX	•	00	FF																
5	00000010	4	HEX	•	CE	67	FF	FF														
6	00000040	12	HEX	•	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF	FF						
7			HEX	•																		
8			HEX	•																		
9			HEX	•																		
10			HEX	•																		
	Address Sort (Dff			•															Þ		

<図4-2:AZ481をご利用頂いた場合の作成例>

4-3. セキュリティ/オプションバイト/IDコード設定値 4-3-1. セキュリティフラグ

セキュリティフラグは以下のフォー	ーマットに従い設定して下さい。
YDDファイル内のアドレス	: 0 x 0 0 0 0 0 0 0 0 固定
データサイズ	:1固定
データ	:表4-3-1をご参照下さい。

<表4-3-1:セキュリティフラグ>

項目		
Bit7-6	"1"固定	* 1
Bit5	読み出し禁止フラグ("1"許可、"0"禁止)	
Bit4	書き込み禁止フラグ("1"許可、"0"禁止)	* 2
Bit3	チップ消去禁止フラグ("1"許可、"0"禁止))	* 2 * 3
Bit2	ブロック消去禁止フラグ("1"許可、"0"禁止)	
Bit1	ブートブロッククラスタ書き換え禁止フラグ("1"許可、"0"禁止)	* 2 * 4
Bit0	"1"固定	* 1

- *1: "0" が設定されていた場合はファイルフォーマットエラーとします。
- *2:MCU Operation Modeでセキュリティ無効モードの設定でご利用いただいた
 場合、本設定が"禁止"の設定となっている場合はエラーを出力し、
 デバイスファンクションを中断します。
- *3:チップ消去禁止設定を行った場合、フラッシュライタでは書き換え不可能となりますので、 ご注意下さい。
- *4:ブートブロッククラスタ書き換え禁止設定を行った場合、フラッシュ全領域の書き換えは 不可能となりますのでご注意下さい。

チップ消去禁止フラグと、ブートブロッククラスタ書き換え禁止フラグは、"許可"から"禁止"の 追加設定のみ可能です。追加設定は、E.P.R、全領域ERASE、PROGRAMの各デバイス ファンクション実行により、行うことが出来ます。

読み出し禁止フラグ、書き込み禁止フラグ、ブロック消去禁止フラグは、チップ消去により"許可" に戻すことが可能ですので、全領域E. P. Rもしくは全領域ERASEの各デバイスファンクショ ン実行により、再設定が可能です。

4-3-2. ブートブロッククラスタ最終ブロック番号設定

ブートブロッククラスタ最終ブロック番号設定は以下のフォーマットに従い設定して下さい。なお、 設定可能なデータ範囲はマイコンにより異なりますので、マイコンのマニュアルを確認の上、値を 設定して下さい。

YDDファイル内のアドレス : 0 x 0 0 0 0 0 0 4 固定

データサイズ :2固定

データ:マイコンのマニュアルを確認の上、値を設定して下さい。

4-3-3. フラッシュシールドウインドウ開始ブロック番号設定

フラッシュシールドウインドウ開始ブロック番号設定は以下のフォーマットに従い設定して下さい。 なお、設定可能なデータ範囲はマイコンにより異なりますので、マイコンのマニュアルを確認の上、 値を設定して下さい。

 YDDファイル内のアドレス
 :0x0000008固定

 データサイズ
 :2固定

 データ
 :マイコンのマニュアルを確認の上、値を設定して下さい。

4-3-4. フラッシュシールドウインドウ終了ブロック番号設定

フラッシュシールドウインドウ終了ブロック番号設定は以下のフォーマットに従い設定して下さい。 なお、設定可能なデータ範囲はマイコンにより異なりますので、マイコンのマニュアルを確認の上、 値を設定して下さい。

 YDDファイル内のアドレス
 :0x000000C固定

 データサイズ
 :2固定

 データ
 :マイコンのマニュアルを確認の上、値を設定して下さい。

4-3-5. オプションバイト設定

オプションバイト設定は以下のフォーマットに従い設定して下さい。

YDDファイル内のアドレス :表4-3-2をご参照下さい。

データサイズ :4固定

データ

:マイコンのマニュアルを確認の上、4バイト(32bit) 単位で設定して下さい。

<表4-3-2:オプションバイトのアドレス一覧>

オプションバイト	アドレス
0	0 x 0 0 0 0 0 0 1 0
1	0 x 0 0 0 0 0 0 1 4
2	0 x 0 0 0 0 0 0 1 8
3	0 x 0 0 0 0 0 0 0 1 C
4	0 x 0 0 0 0 0 0 0 2 0
5	0 x 0 0 0 0 0 0 0 2 4
6	0 x 0 0 0 0 0 0 2 8
7	0 x 0 0 0 0 0 0 0 2 C
8	0 x 0 0 0 0 0 0 3 0

マイコンにより、設定可能なオプションバイトは異なりますので、設定可能なオプションバイトについては、各マイコンパックのマニュアルをご参照下さい。マイコンに存在しないオプションバイトについては、YDDファイル内に設定を記述しないで下さい。オプションバイトの詳細につきましては、マイコンのマニュアルをご参照下さい。

YDDファイルにオプションバイト設定を記述する場合、オプションバイトの実際のアドレスでは なく、上記一覧表の、オプションバイトの番号に対応するアドレスで記述してください。

また、オプションバイト設定を行いたくない場合は、YDDファイルから上記アドレスの行を削除 することにより、オプションバイト設定をスキップすることが出来ます。 4-3-6. OCD用 I Dコード設定

I Dコード設定は以下のフォーマットに従い設定して下さい。

YDDファイル内のアドレス :0x0000040固定

データサイズ :12固定

データ:任意の値を設定して下さい。

IDコード設定を行いたくない場合は、YDDファイルから上記アドレスの行を削除することにより、IDコード設定をスキップすることが出来ます。

YDDファイルにIDコード設定を記述する場合、IDコードの実際のアドレスではなく、上記の アドレスで記述してください。

12バイトのデータは下記の並びで設定してください。

📥 KEY	'File Genera	ator [M	lodified]																			<u>- 🗆 ×</u>
File(<u>F</u>)	AddressSize	»(<u>А</u>) С)ption(<u>0</u>)	He	lp(<u>H</u>)																	
							K	EY	YI	Fil	e (Ge	ne	ra	to	r						
			File	::																		
No.	Address	Size	Туре		00	0.1	00	0.2	04	05		D	ata	~~	~ ~	op	0.0	op	OT	OT	Title	
<u>-</u>			<u> </u>	_	00		02	03	04		00	107	08 I	09	UA I	UR UR			UE			_
	00000000	4	HEX	•	F F																	=
2	00000004	1	HEX	•	03																	
3	00000008	2	HEX	•	00	00																
4	00000000	2	HEX	•	01	FF							1									
5	00000010	4	HEX	-	CE	67	FF	FE				ĺ	ĺ			ĺ						
6	00000040	12	HEX	-	00	11	22	33	44	55	66	77	88	99	AA	вв						
7			HEX	•		∧				• •	•	••			∕							
8			HEX	-	(1)	(2)						1	1		(11)	(12)						
9			HEX	-																		
10			HEX	-																		_
	Address Sort (Dff	,		•					n										•		

<図4-3-1:OCD用IDコードのデータ並び>

(1):Bit7~Bit0

(2):Bit15~Bit8

(11):Bit87~Bit80

(1 2) : Bit95~Bit88

4-4. 設定処理フロー

セキュリティ・オプションバイト・IDコード設定処理は、デバイスファンクションE.P.R、 PROGRAM、全領域ERASE実行時に処理されます。



<図4-4-1:セキュリティ設定フロー>

 *1:YDDファイル内のセキュリティ設定に、書込み禁止、チップ消去禁止、もしくは、ブート ブロッククラスタ書き換え禁止が設定されている場合、MCU Operation Mod eの設定値を確認します。

MCU Operation Modeの設定値により、デバイスファンクションは次のよう な動作となります。

SWX600上の設定値	NET IMPRESS	動作
	キー操作時のLCD表示	
0000	St'd	エラー終了
0001	Opt	デバイスファンクション続行

^{*2:}現在のセキュリティ設定

次の条件に該当する場合、YDDファイル内に記述されたとおりのセキュリティ設定を行うこと が出来ませんので、エラーを出力してデバイスファンクションを中断します。

- 1. YDDファイル内に記述されたセキュリティ設定の、bit7、bit6、Bit0のい ずれかが "0" に設定されている。
- *3:YDDファイルにオプションバイトの記述がない場合、オプションバイトの設定およびベリ ファイは行われません。また、YDDファイルにIDコードの記述がない場合、IDコード の設定およびベリファイは行われません。



 *4:YDDファイル内のセキュリティ設定に、書込み禁止、チップ消去禁止、もしくは、ブート ブロッククラスタ書き換え禁止が設定されている場合、MCU Operation Mod eの設定値を確認します。

MCU Operation Modeの設定値により、デバイスファンクションは次のよう な動作となります。

SWX600上の設定値	NET IMPRESS	動作
	キー操作時のLCD表示	
0000	St'd	エラー終了
0001	Opt	デバイスファンクション続行

*5:現在のセキュリティ設定

次の条件のいずれかに該当する場合、YDDファイル内に記述されたとおりのセキュリティ設定 を行うことが出来ませんので、エラーを出力してデバイスファンクションを中断します。

- マイコンにすでに設定されているセキュリティ設定とYDDファイル内に記述されたセキ ュリティ設定を比較し、"禁止"→"許可"にするようなセキュリティ設定を行おうとして いる。
- 2. YDDファイル内に記述されたセキュリティ設定の、bit7、bit6、Bit0のい ずれかが"0"に設定されている。
- *6:YDDファイルに記述されたオプションバイトと、マイコンに書き込まれているオプション バイトが不一致の場合、YDDファイルに記述されているオプションバイトをマイコンに設 定することが出来ないため、デバイスファンクションがエラー終了します。 YDDファイルにオプションバイトの記述がない場合、上記のチェックは行われず、オプシ ョンバイトの設定およびベリファイも行われません。
- *7:YDDファイルに記述されたIDコードと、マイコンに書き込まれているIDコードが不一 致の場合、YDDファイルに記述されているIDコードをマイコンに設定することが出来な いため、デバイスファンクションがエラー終了します。
 YDDファイルにIDコードの記述がない場合、上記のチェックは行われず、IDコードの 設定およびベリファイも行われません。

4-5. セキュリティによるデバイスファンクション実行可否

マイコンに設定されているセキュリティにより、実行可能なデバイスファンクションは次のとおり となります。実行不可のデバイスファンクションを実行しようとすると、セキュリティ設定によるエ ラー "1128: WARNING SECURITY SETTING"が表示され、デバイスファンクションが中断され ます。

			マイコンに設定されているセキュリティ									
		読み出し禁止	書込み禁止	ブロック消去	チップ消去	ブートブロック						
				禁止	禁止	クラスタ						
						書き換え禁止						
	EPR	0	条件1:○	条件1:○	条件1:×	条件1:×						
×			<u> </u>		籴件2:*1	采件2:*2						
L m L	PROGRAM	0	×	0	0	* 2						
イン	READ	0	0	0	0	0						
775	ERASE	0	条件1 : ○ 条件2 : ×	条件1 : ○ 条件2 : ×	×	条件1:× 条件2:*2						
ババイ	BLANK	0	0	0	0	0						
	СОРҮ	×	0	0	0	0						

<表4-5-1:実行可能なデバイスファンクション>

条件1:マイコンのフラッシュROM全領域をデバイスファンクション実行範囲として設定している 場合。

条件2:条件1を満たさない場合。

- *1イレーズ前に書き込み対象領域へブランクチェックを行い、ブランクであった場合のみ〇。それ 以外の場合は×。
- *2ブートブロック以外への書き込み、ブロック消去は可能ですが、ブートブロックに設定されたブ ロックへの書き込み、消去を行おうとするとエラーとなります。

4-6. オプションバイト/IDコード設定時の注意

すでにオプションバイトやIDコードが設定されているマイコンのオプションバイトやIDコード を書き換えるためには、チップ消去を実行して各領域を初期化する必要があります。全領域を対象と したEPRを行う場合はチップ消去が実行されますが、PROGRAMや、一部領域を対象としたE PRを行う場合は、チップ消去を実行せずにオプションバイトやIDコードを設定しようとするため、 次のような動作となります。

 YDDファイルに記述されたオプションバイト・IDコードと、マイコンに書き込まれているオ プションバイト・IDコードが不一致の場合、YDDファイルに記述されているオプションバイ ト・IDコードをマイコンに設定することが出来ないため、デバイスファンクションがエラー終 了します。 5. エラーメッセージ

信号線の接続やパラメータ設定の誤りに対して、デバイスファンクション実行時に、特別なエラー メッセージを出力されます。

本章に記載されている以外のエラーメッセージは、NET IMPRESSのインストラクション マニュアルをご参照下さい。

5-1. エラーコード一覧

"1109:DEVICE ERR"のエラー内容を示します。

" 1109: DEVICE ERR XX"の、"XX"は、エラーコードになっています。

code	内容
05	コマンドに付加するパラメータが適切ではありません。
07	通信フレームのサム値に異常が発生しました。
$0\mathrm{F}$	ライタから転送されたデータとマイコン内のデータのベリファイ結果が一致しません。
10	セキュリティ設定で禁止した操作を実行しようとしました。
15	否定応答(NACK)を受信しました。
16	フラッシュ制御マクロにエラーが発生しました。
1B	ブランクチェック時にエラーが発生しました。
1C	書き込み時にエラーが発生しました。
上記以外	通信エラーが発生しました。

<表5-1:DEVICE ERROR エラーコード一覧>

5-2. エラーメッセージ一覧

<表5-2:機種固有のエラーメッセージ一覧>

1120 YDD FILE NOT FOUND要因YDD $7 + 7 \mu \ddot{m} Y I M T \pi \nu \sigma \rho h c c m d d d d d d d d d d d d d d d d d$	エラーメッセージ	エラー要因/対策						
1120 YDD FILE NOT FOIND 対策 YDDファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YDDファイルビンいては第4章をご参照下さい。 1121 MORE 2 YDD FILES 要因 YDDファイルがYI Mフォルダ外に2つ以上配置されているかご確認下さい。 YDDファイルの取得に失敗しました。 1122 YDD FILE OPEN ERR 要因 YDDファイルの取得に失敗しました。 1123 YDD FILE OPEN ERR 要因 YDDファイルの取得に失敗しました。 1123 YDD FILE OPEN ERR 要因 YDDファイルの政定値に異常があります。 1123 YDD FILE FORMAT ERR 要因 YDDファイルの政定値に異常があります。 1124 YDD FILE FORMAT ERR 要因 YDDファイルの政定値に異常があります。 1124 YDD FILE FORMAT ERR 要因 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第3章をご参照下さい。 1124 YPM FILE NOT FOUND 要因 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルの取得に失敗しました。 1126 WRNING SECURITY SETTING 要因 Y PMファイルの取得に失敗しました 1128 WARNING SECURITY SETTING 要因 1 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y DDファイルの内容をご確認下さい。 gg因 2 マイコンに設定されているせキュリティは思定さればくっとさない いデバイスファンクションを実行しようとしました。 gg因 2 マイコンに設定されているせキュリティ自効モードにご設定されている場合をにく。) 1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR 要因 C P Uから取得にたデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR 要因 <t< td=""><td>1190</td><td>要因</td><td>YDDファイルがYIMフォルダ内に配置されていません。</td></t<>	1190	要因	YDDファイルがYIMフォルダ内に配置されていません。					
IDD THL NOT FORM 対策 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 1121 MORE 2 YDD FILES 要因 YDDファイルがYI Mフォルダ内に2つ以上配置されています。 1122 YDD FILE OPEN ERR 要因 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 1123 YDD FILE OPEN ERR 要因 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 1123 YDD FILE FORMAT ERR 要因 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 1123 YDD FILE FORMAT ERR 要因 YDDファイルの内容をご確認下さい。 1124 YDD FILE NOT FOUND 要因 YPMファイルがアレッマでは第4章をご参照下さい。 1124 YPM FILE NOT FOUND 要因 YPMファイルがとしく配置されているかご確認下さい。 1125 MORE 2 YPM FILES 要因 YPMファイルがY I Mフォルダ内に22 つ以上配置されていません。 1125 MORE 2 YPM FILES 要因 YPMファイルがY I Mフォルダ内に22 つ以上配置されていません。 1126 YPM FILE OPEN ERR 要因 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 1126 YPM FILE OPEN ERR 要因 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 1128 WARNING SECURITY SETTING 要因 YDDファイルの内容をご確認下さい。 第支払み禁止設定またはチッブ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書を換え禁止設定またはブート ブロッククラスタ書を換え禁止設定がる場合には、「F U NC D 4]の設定をセキュリティにと取定を確定する場合には、「F U NC D 4]の設定をセキュリティにと取定を作ちょしまたにプート ジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェジェ	VDD FILE NOT FOUND	计生	YDDファイルが正しく配置されているかご確認下さい。					
1121 MORE 2 YDD FILES要因YD DファイルがY I Mフォルダ内に 2 つ以上配置されて います。 YD Dファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YD Dファイルの取得に失敗しました。 YD Dファイルの取得に失敗しました。1122 YDD FILE OPEN ERR要因YD Dファイルの取得に失敗しました。 YD Dファイルについては第4章をご参照下さい。 YD Dファイルについては第4章をご参照下さい。 YD Dファイルのの物容で確認下さい。 YD Dファイルの物容をご確認下さい。 YD Dファイルの物容をご確認下さい。 YD Dファイルの物容をご確認下さい。 YD Dファイルの物容をご確認下さい。 YD Dファイルについては第4章をご参照下さい。 YD Dファイルについては第3章をご参照下さい。 YP M FILE NOT FOUND1124 YPM FILE NOT FOUND要因YP MファイルがY I Mフォルダ内に配置されているかご確認下さい。 YP Mファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YP Mファイルについては第3章をご参照下さい。 YP Mファイルについては第3章をご参照下さい。 YP Mファイルについては第3章をご参照下さい。 YP Mファイルについては第3章をご参照下さい。 YP Mファイルについては第3章をご参照下さい。 YP Mファイルについては第3章をご参照下さい。 #き込み禁止設定またはチッブ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書を換え禁止設定がる場合には、【F U NC D 4】の設定をセキュリティを場合には、【F U NC D 4】の設定をセキュリティを認定でも場合には、【F U NC D 4】の設定をセキュリティたいち切差で withで。 (ドイスファンクションを実行しようとしました。 2 字目記です。(チッブ消去禁止設定おたいる場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 	IDD FILE NOT FOUND	刈飛	YDDファイルについては第4章をご参照下さい。					
1121 MORE 2 YDD FILESマロファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルにの設定値に異常があります。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルにの内容をご確認下さい。 YDDファイルの内容をご確認下さい。 YDDファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルがYIMフォルダ内に配置されているかご確認下さい。 		电田	YDDファイルがYIMフォルダ内に2つ以上配置されて					
MORE 2 YDD FILES 対策 YDDファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 1122 YDD FILE OPEN ERR 要因 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 1123 YDD FILE OPEN ERR 対策 YDDファイルの取得に失敗しました。 1123 YDD FILE FORMAT ERR 要因 YDDファイルの設定値に異常があります。 1124 YDD FILE FORMAT ERR 要因 YDDファイルの内容をご確認下さい。 YDDファイルの内容をご確認下さい。 1124 YPM FILE NOT FOUND 要因 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 1125 MORE 2 YPM FILES 要因 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 1126 YPM FILE OPEN ERR 要因 YPMファイルの取得に失敗しました。 1126 YPM FILE OPEN ERR 要因 YPMファイルが正しく配置されていろかご確認下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 1126 YPM FILE OPEN ERR 要因 YPMファイルの取得に失敗しました。 第第 シン募出設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止設定が、「禁止"」に設定されてい います。 ************************************	1121	女囚	います。					
NRYDDファイルについては第4章をご参照下さい。 要因1122 YDD FILE OPEN ERR要因YDDファイルの取得に失敗しました。 YDDファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルが正しく配置されていろかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルの取得に失敗しました。1126 YPM FILE OPEN ERR要因YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 *PMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。1126 WPM FILE OPEN ERR要因YPMファイルの取得に失敗しました。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 *YPMファイルの内容をご確認下さい。 *YPMファイルの内容をご確認下さい。 *YPMファイルの内容をご確認下さい。 ************************************	MORE 2 YDD FILES	対策	YDDファイルが正しく配置されているかご確認下さい。					
1122 YDD FILE OPEN ERR要因YDDファイルの取得に失敗しました。1123 YDD FILE FORMAT ERR要因YDDファイルの設定値に異常があります。 YDDファイルの内容をご確認下さい。 YDDファイルの内容をごで認下さい。 YDDファイルの内容をごで認下さい。 YDDファイルの内容をごで認下さい。 YDDファイルの内容をごで認下さい。 YDDファイルの内容をごで認下さい。 YDDファイルの内容をごで認下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YPMファイルボEしく配置されていろかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されていろかご確認下さい。 YPMファイルが正しく配置されていろかご確認下さい。 YPMファイルが取りては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 ************************************		NR	YDDファイルについては第4章をご参照下さい。					
1122 YDD FILE OPEN ERR対策YDDファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YDDファイルの設定値に異常があります。1123 YDD FILE FORMAT ERR要因YDDファイルの設定値に異常があります。1124 YPM FILE NOT FOUND要因YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルの取得に失敗しました。 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y PMファイルのの均定を対応しているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y PMファイルの内容をご参照下さい。 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y PMファイルの内容をご参照下さい。 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y PMファイルの内容をご参照下さい。 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y PMファイルの内容をご参照下さい。 Y PMファイルの内容をご参照下さい。1126 WARNING SECURITY SETTING要因 11128 WARNING SECURITY SETTING要因 21128 WARNING SECURITY SETTING要因 21129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因 21129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因1129 DEVICE CODE NO MATCH ERRORアメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認定さいているかごでで 認定さいていません。1129 DEVICE CODE NO MATCH ERRORアメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認定さい1129 DEVICE CODE NO MATCH ERRORアメータがご アメータがご アメータが アメータクジェノー	1199	要因	YDDファイルの取得に失敗しました。					
Ind File Of EX EM対策YDDファイルについては第4章をご参照下さい。1123 YDD FILE FORMAT ERR要因YDDファイルの設定値に異常があります。1124 YPM FILE NOT FOUND対策YDDファイルがY I Mフォルダ内に配置されていません。1125 MORE 2 YPM FILES要因YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。1125 MORE 2 YPM FILES要因YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 ************************************	VDD FILE OPEN FRR	対策	YDDファイルが正しく配置されているかご確認下さい。					
1123 YDD FILE FORMAT ERR要因YDD ファイルの改定値に異常があります。 YDD ファイルの内容をご確認下さい、 YDD ファイルについては第4章をご参照下さい。 YDD ファイルについては第4章をご参照下さい。 YPM ファイルボロレく配置されているかご確認下さい。 YPM TRLE NOT FOUND1124 YPM FILE NOT FOUND要因YPMファイルボロレく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルの取得に失敗しました。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YDDファイルの内容をご確認下さい。 ************************************	IDD FILE OFEN EAR	刈飛	YDDファイルについては第4章をご参照下さい。					
1123 YDD FILE FORMAT ERR対策YDDファイルの内容をご確認下さい。 YDDファイルについては第4章をご参照下さい。 YDDファイルバンド(第4章をご参照下さい。 YDDファイルバンド(第4章をご参照下さい。 YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルバンについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下さい。 *PUDファイルの内容をご確認下くい。 *PUDファイクションを実行しようとしました。 *PUTマートブロッククラスタ書を換え禁止設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因 PUT <b< td=""><td>1102</td><td>要因</td><td>YDDファイルの設定値に異常があります。</td></b<>	1102	要因	YDDファイルの設定値に異常があります。					
IDD FILE FORMATION対策Y DDファイルについては第4章をご参照下さい。 Y PMファイルがY I Mフォルダ内に配置されていません。 Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルの取得に失敗しました。 Y PMファイルの内容をご確認下さい。 Y DDファイルの内容をご確認下さい。 <br< td=""><td>VDD FILE EODWAT EDD</td><td>计生</td><td>YDDファイルの内容をご確認下さい。</td></br<>	VDD FILE EODWAT EDD	计生	YDDファイルの内容をご確認下さい。					
1124 YPM FILE NOT FOUND要因Y PMファイルがY I Mフォルダ内に配置されていません。 	IDD FILE FORMAT ERR	刈飛	YDDファイルについては第4章をご参照下さい。					
1124 YPM FILE NOT FOUND対策Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルがY I Mフォルダ内に2つ以上配置されて います。1125 MORE 2 YPM FILES要因Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 オ策 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 オ策 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 オ策 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 書き込み禁止設定またはチッブ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書を換え禁止設定がご前ま禁止設定またはブート ブロッククラスタ書を換え禁止設定が過去またはブート ブロッククラスタ書を換え禁止設定する場合には、[F U NC D 4]の設定をセキュリティにより実行できな いデバイスファンクションを実行しようとしました。1128 WARNING SECURITY SETTING要因 2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できな いデバイスファンクションを実行しようとしました。 マイコンに設定されているせキュリティにより実行できな いデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認 アキン。	1194	要因	YPMファイルがYIMフォルダ内に配置されていません。					
INFILE NOT FOOD対策Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルがY I Mフォルダ内に2つ以上配置されて います。1125 MORE 2 YPM FILES対策Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルの取得に失敗しました。1126 YPM FILE OPEN ERR要因Y PMファイルの取得に失敗しました。 オ策1127 PM FILE OPEN ERR要因Y PMファイルの取得に失敗しました。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 ************************************	VDM FILE NOT FOUND	計準	YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。					
1125 MORE 2 YPM FILES要因Y PMファイルがY I Mフォルダ内に2 つ以上配置されて います。1126 YPM FILE OPEN ERR要因Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルの取得に失敗しました。1126 YPM FILE OPEN ERR要因Y PMファイルの取得に失敗しました。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 ア Mファイルについては第3章をご参照下さい。 ア Mファイルについては第3章をご参照下さい。 ア Y DDファイルの内容をご確認下さい。 オウッククラスタ書き換え禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止設定する場合には、【F U NC D 4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できない。 デバイスファンクションを実行しようとしました。1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 スグラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認 認下さい。	IIM FILE NOT FOUND	刈束	YPMファイルについては第3章をご参照下さい。					
1125マロいます。MORE 2 YPM FILES対策Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 書き込み禁止設定またはチッブ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できない。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できない。 デバイスファンクションを実行しようとしました。1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C PUから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認下さい。 家下さい。		単田	YPMファイルがYIMフォルダ内に2つ以上配置されて					
MORE 2 YPM FILES対策Y PMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 要因1126 YPM FILE OPEN ERR要因Y PMファイルの取得に失敗しました。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティにより実行できない。 要因21128 WARNING SECURITY SETTING要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できない。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。 全領域のE R A S E を行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラスタ書き換え禁止設定およびブートブロッククラスタ書き換え禁止設定およびブートブロッククラスタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 認下さい。	1125	安凶	います。					
NRYPMファイルについては第3章をご参照下さい。1126 YPM FILE OPEN ERR要因YPMファイルの取得に失敗しました。オ策YPMファイルの取得に失敗しました。オ策YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。#書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティにより実行できない。 シームロンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認 認下さい。	MORE 2 YPM FILES	计生	YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。					
1126 YPM FILE OPEN ERR要因Y PM $7 \tau 1 \mu 0 \pi 4 \mu$		NJ M	YPMファイルについては第3章をご参照下さい。					
1120 YPM FILE OPEN ERR対策YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 YPMファイルについては第3章をご参照下さい。 書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止設定が "禁止"に設定されて います。1128 WARNING SECURITY SETTINGガ策1対策1アロッククラスタ書を換え禁止設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。 名グ書を換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認下さい。	1196	要因	YPMファイルの取得に失敗しました。					
ITAL FILE OFEX EXXメ東Y PMファイルについては第3章をご参照下さい。 書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止設定が "禁止"に設定されて います。1128 WARNING SECURITY SETTING対策1YDDファイルの内容をご確認下さい。 書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止を設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 要因2要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できな いデバイスファンクションを実行しようとしました。 名夕書き換え禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 就下さい。	VDM FILE ODEN EDD	対策	YPMファイルが正しく配置されているかご確認下さい。					
1128 WARNING SECURITY DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因 1書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止設定が、 "禁止"に設定されて います。1128 WARNING SECURITY SETTING対策 1YDDファイルの内容をご確認下さい。 書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止を設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。 全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 対策パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。	IIM FILE OF EN ENK		YPMファイルについては第3章をご参照下さい。					
期間 1128 WARNING SECURITY SETTING要因 1ブロッククラスタ書き換え禁止設定が "禁止"に設定されて います。 YDDファイルの内容をご確認下さい。 書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止を設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 で マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。 全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 オ策 パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認下さい。			書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート					
1128います。WARNING SECURITY SETTING対策1YDDファイルの内容をご確認下さい。 書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止を設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 要因2要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。 全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラスタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 ステキい。		要因1	ブロッククラスタ書き換え禁止設定が"禁止"に設定されて					
1128 WARNING SECURITY SETTINGYDDファイルの内容をご確認下さい。 書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止を設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。 マイコンに設定されている場合を保く。)加第2全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。			います。					
1128 WARNING SECURITY SETTING対策1書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート ブロッククラスタ書き換え禁止を設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。 全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラスタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因CPUから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。			YDDファイルの内容をご確認下さい。					
1128 WARNING SECURITY SETTING対策1ブロッククラスタ書き換え禁止を設定する場合には、【FU NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できない。要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。 や着領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラスタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 スタ書さい。			書き込み禁止設定またはチップ消去禁止設定またはブート					
WARNING SECURITY SETTINGNC D4]の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さい。要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できないデバイスファンクションを実行しようとしました。対策2全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラスタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイルと適合していません。が策パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認下さい。	1128	対策1	ブロッククラスタ書き換え禁止を設定する場合には、【FU					
SETTING い。 要因2 マイコンに設定されているセキュリティにより実行できな いデバイスファンクションを実行しようとしました。 全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。) 1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR 要因 CPUから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 対策 パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。	WARNING SECURITY		NC D4】の設定をセキュリティ有効モードにご設定下さ					
要因2マイコンに設定されているセキュリティにより実行できな いデバイスファンクションを実行しようとしました。要因2全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。が策パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。	SETTING		۷ ک _و					
マロンいデバイスファンクションを実行しようとしました。 全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 別ラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。		更用 2	マイコンに設定されているセキュリティにより実行できな					
全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除 可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P U から取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。が策パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。		女四乙	いデバイスファンクションを実行しようとしました。					
対策2可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P U から取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。が策パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。			全領域のERASEを行うことでセキュリティ設定を解除					
スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。) 1129 要因 C P Uから取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。 DEVICE CODE NO MATCH ERROR アラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認下さい。		対策2	可能です。(チップ消去禁止設定およびブートブロッククラ					
1129 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因C P U から取得したデバイスコードがパラメータファイル と適合していません。が策パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。			スタ書き換え禁止設定が設定されている場合を除く。)					
II29 DEVICE CODE NO MATCH ERROR要因 と適合していません。が策パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確 認下さい。	1100	-	CPUから取得したデバイスコードがパラメータファイル					
BEVICE CODE NO MAICH ERROR が策 パラメータがご利用マイコン用のものとなっているかご確認下さい。	1129 DEVICE CODE NO MATCH	安囚	と適合していません。					
	DEVICE CODE NO MATCH		パラメータがご利用マイコン甲のものとたっていろかご確					
	EKKUR	対策	「認下さい。					

エラーメッセージ		エラー要因/対策
112A OPTIONBYTE VERIFY	要因	オプションバイトの設定後、オプションバイトのベリファイ を行った結果、YDDファイルに記述されたオプションバイ トと、マイコンから読み出したオプションバイトが一致しま せんでした。
EKKOK	対策	_
112B	要因	IDコードの設定後、IDコードのベリファイを行った結 果、YDDファイルに記述されたIDコードと、マイコンか ら読み出したIDコードが一致しませんでした。
OCDID VENILI EMOR	対策	-
112C SECURITY VERIFY ERROR	要因	セキュリティ設定の設定後、セキュリティ設定のベリファイ を行った結果、YDDファイルに記述されたセキュリティ設 定と、マイコンから読み出したセキュリティ設定が一致しま せんでした。
	対策	-
	要因	YDDファイルに記述されたオプションバイトと、マイコン から読み出したオプションバイトが不一致のため、デバイス ファンクションを続行できませんでした。
112D OPTIONBYTE NO MATCH	対策	マイコンの一部領域を書き換える場合、オプションバイトを 書き換えることは出来ないため、YDDファイルに記述する オプションバイト値は、マイコンに書き込まれている値と一 致させる必要があります。 オプションバイト値を書き換えたい場合は、全領域に対する E.P.Rを使用してください。
	要因	YDDファイルに記述された I Dコードと、マイコンから読 み出した I Dコードが不一致のため、デバイスファンクショ ンを続行できませんでした。
112E OCDID NO MATCH	対策	マイコンの一部領域を書き換える場合、IDコードを書き換 えることは出来ないため、YDDファイルに記述するIDコ ード値は、マイコンに書き込まれている値と一致させる必要 があります。 IDコード値を書き換えたい場合は、全領域に対するE.P. Rを使用してください。